

枠組みからはみ出し、伝統を忘れず新しい動き、物への挑戦がいかに難しいかよきかけになりました。今後も高齢者の健康維持のため、頑張りますのでよろしくお願ひします。



この度の朱赤灰釉流し大皿は、とても大きく大変でしたが、動きがありとても面白いと思います。と申しましたが、人も人まねするだけでなく伝統、伝統工芸とは何ぞやと壁にぶち当たりました。



福間 基(島根)  
**中尾賞**  
「朱赤灰釉流紋大皿」  
陶芸 51.5×7cm

瞑の思い  
広い海の中の魚や空飛ぶトンボ、人の生活等を一枚の画面に描きたいとの思いから海遊館へ行く。小さい魚にぶつかっても死んでしまふ、でも大きく愛くるしいマンボウの姿に魅せられ描き続けています。



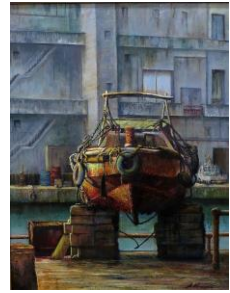
吉井静子(兵庫)  
**中尾賞**  
「瞑-VIII」  
油彩 F100

新人賞をいただいて絵の基本は「静物」と聞き静物画ばかり描き、これで良いのか不安でしたが、今回素晴らしい賞を頂き、これまでの不安が取り払われた気持ちです。描画歴まだ数年の私ですがとても励みになります。ありがとうございます。



山田はるみ(栃木)  
**新人賞**  
「私のアトリエ I」  
油彩 F50

警戒船は港湾や運河の工事現場をパトロールする船です。使命を全うし、満身創痍で旅立ちを待つ雄姿、嗚呼無情。錆びた船体に柔らかな日差し、ここが最後の居場所なのです。



辺見昭彦(埼玉)  
**芸術新聞社賞**  
「警戒船 最後の居場所」  
油彩 F60



鈴木典男(栃木)  
**小品部門特選賞**  
「陽光」  
水彩 P12

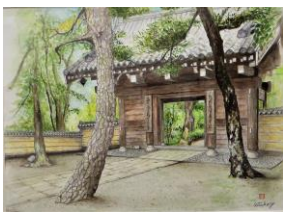


鏡湖池に映える金閣寺を初めて観たときから作品にしたいと思いい、全て試行錯誤で奥行きを決める迄半年、完成まで二年かかりました。



佐藤 昭(東京)  
**新人賞**  
「鏡湖に映える金閣寺」  
工芸  
70×90×20 cm

これまでは自宅に飾るだけで満足していましたが、妻より大勢の方に見てもらおうよう説得され、新日美展に出品したところ、期待以上の賞を頂きました。これを機に更に精進いたします。以上 よろしくお願ひ致します。



米倉厚子(埼玉)  
**小品部門佳作賞**  
「小江戸の静けさ」  
水彩 F12

子供の頃から、絵を描くことが大好きな私が初めてこのような素晴らしい賞を皆様の前で頂き幸せに思います。有難うございます。小江戸の静けさ「川越中院」この山門は私の散歩道です。桜が散ってしまうととても静かになります。



正月明けの一月二日の朝、地元の京都府京田辺市は珍しく積雪し、見慣れたお気に入り風景が一変しました。この絵は私に、迎春の清々しさと澄み渡る空気を回想させます。



中島 浩(京都)  
**小品部門奨励賞**  
「足跡が付く前に田辺公園 雪」  
油彩 P15